

2012年2月22日

## ダイハツ、マレーシアに オートマチックトランスミッション生産会社を設立

ダイハツ工業(株)(以下 ダイハツ)はマレーシアにおいて、子会社の明石機械工業(株)(以下 明石機械、所在地：兵庫県加古郡、取締役社長：松下範至)、現地子会社プロドゥアとの合弁による、オートマチックトランスミッション(AT)の生産会社「AKASHI KIKAI INDUSTRY (M) SDN. BHD. (明石機械マレーシア)」を2月17日付で設立した。

生産工場は3月に着工し、2013年11月の操業開始を予定している。

マレーシア市場ではAT搭載車の比率が高いが、ATそのものは他の自動車メーカーも含め、これまで現地生産はされていない。

日本でダイハツ向けのCVTをはじめとする駆動系ユニットを生産する明石機械は、新会社によってその基盤技術をマレーシアで確立し、高品質と低コストを両立したATの生産を目指す。

ダイハツは、海外事業の重要拠点であるマレーシアにおいて、国際競争の激化をにらんで現地調達比率の拡大を進め、コスト競争力の強化を図っていく。

### 【明石機械マレーシアの概要】

会社設立日	2012年2月17日
所在地	ネグリセンビラン州 セレンバン市 センダヤン工業団地
事業内容	電子制御AT アッシーの製造および販売 (操業開始：2013年11月予定)
資本金	100,000,000 マレーシアリングgit (約26億円)
出資比率	明石機械：51%、ダイハツ：39%、プロドゥア：10%
代表者	取締役社長 野村秀樹 (明石機械工業(株)取締役副社長)
従業員数	約120名
用地面積	11.3万㎡
工場面積	1.3万㎡
生産能力	15万台/年

以上